修習技術者のための能力開発支援プログラム

IPD事業のメリット

※ IPD：Initial Professional Development

～　IPD事業とは　～

- IPD事業は、技術士を目指す修習技術者の皆様が、求められる資質能力を計画的・継続的に身に付けるための、日本技術士会の新しい取組みです。
- IPD事業は、生涯にわたり一貫した整合性のある技術研さんを行うため、修習技術者の皆様が実践するIPDについて、CPDと同様に証跡のある活動記録として統合管理できる環境を提供することを狙いとしており、日本技術士会は、その具体手段として「IPDシステム」を構築し、サービスを開始しました。

～　IPD事業で“できること”と“メリット”　～

◆ 事業参加者（修習技術者）

― できること ―	― 得られる効果（メリット）―
● **研さん機会の獲得** ✓ 日本技術士会が提供する広範で多様な講習会等へ参加できる	▸ 場所・時間・分野に縛られず多様な研さん機会が得られる ▸ 人脈形成、コミュニケーション機会が得られる ▸ 実社会のリアリティある問題・課題が理解できる ▸ 技術士と同様な視座での課題共有、実践・応用的解決方法なども経験できる
● **研さんの見える化・記録** ✓ IPD 活動実績を記録・閲覧できる	▸ 自らの研さんが記録できる、学びを客観的に把握でき・振返りなどできる ▸ 研さん内容・資質バランスの偏重改善、弱点発見につながる
● **研さんの履歴の明示・証明** ✓ IPD 活動実績を証明できる	▸「修習技術者として何を研さんしたか」について具体な研さん内容・時間など明示・証明できる

社会・技術課題の理解促進、効果的な技術獲得、キャリア・成長の明示・証明
技術者として成長加速　➡ 技術士資格取得の早期化

◆ 社会的なメリット

- 科学技術立国を支える技術者の確保
- 優秀な技術士による実践的な技術サービスの向上
- 国際通用性の高い技術士の確保、国際競争力の向上など

◆ 日本技術士会のメリット

- 「生涯にわたり一貫した整合性のある技術研さん」の実践的推進
- “修習技術者～技術士”のシームレスなサービス提供、会員増加
- 技術士の資質の維持・向上

公益社団法人日本技術士会　2026.8.20